

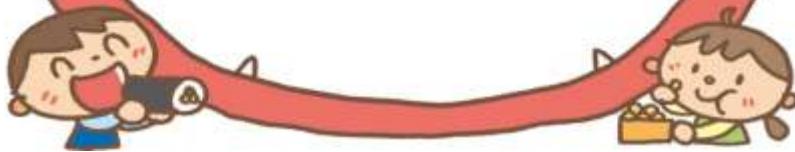


ほけんだより 2月号

令和7年度
社会福祉法人雫石保育園 保健室



寒さがまた一段と増す時期となりました。
降り積もった雪の上で思いっきり雪遊びを
楽しんでいる子どもたちのパワーに圧倒さ
れる毎日です。
今年度も残り2か月を切りました。インフル
エンザなどの感染症に負けず、予防に気を
配りながら過ごしていきましょう。



低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれることで起こる「低温やけど」が増えています。
痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌
が赤くなり子どもが痛がゆく感じたら要注意。

応急処置



痛みが和らぐまで流水で
冷やす。最低20分くら
いは冷やし続け、その後
病院へ。



広範囲のやけどは、冷水で
ぬらしたシーツなどで全身
を覆い、シャワーをかける。
その後病院へ。



お子様の肌、カサカサしていませんか？

子どもの肌は大人に比べて以下の特徴があり
ます。

- ① 大人に比べて皮膚のバリア機能が未熟
- ② 皮膚が薄く、保水能力も低い
- ③ 皮脂の分泌が少ない

これらに合わせて子どもは自分でかゆみを我慢できずに、かきむしましてしまい肌が傷つくことや不機嫌になりがちなことがみられます。

肌の清潔をしっかりと保ち、ご家庭での保湿をお願いいたします。(乾燥がひどく、医師の指示があり処方された薬に限っては保育園でも塗布することができますのでご相談ください。)また、冬でも肌着の着用をおすすめします。肌着に関しては綿素材の半袖やタンクトップのものが好ましいです。機能性インナーなども暖かいですが、化学繊維でできているため肌の弱いお子様にはおすすめいたしません。また吸湿発熱を利用しているものもあるためより乾燥が進んでしまいます。裏起毛の洋服も蒸れやすく熱がこもってしまうため、体温調節が未熟なお子様にとってデメリットとなります。

お子様のため、保湿や適切な衣類選択にご協力お願いいたします。

